

道内の感染状況等について

【令和3年4月2日】

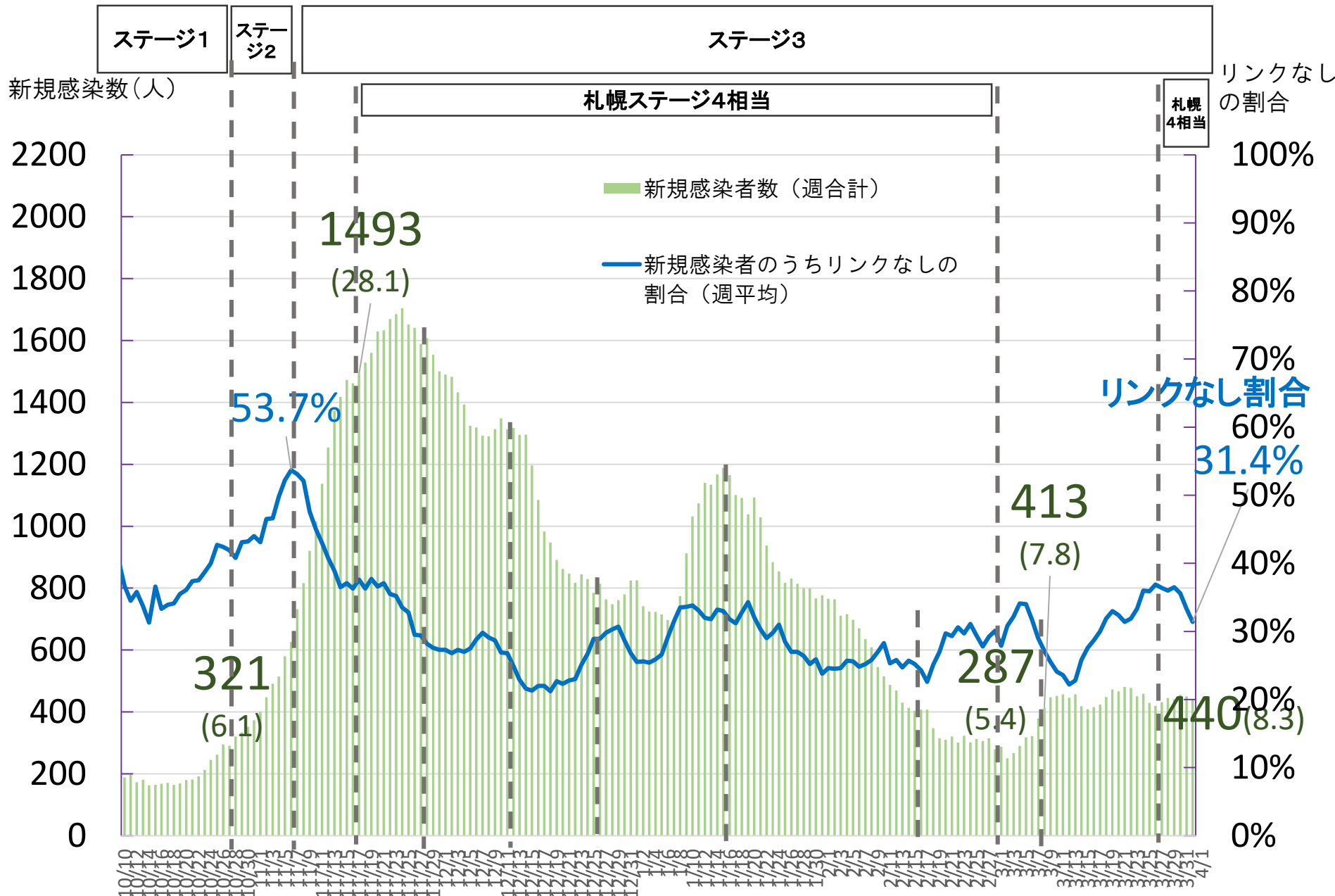
主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (4/1)	418床 ↑	17床 ↑	760人 ↑	2.7% ↓	440人/週 (8.3人) ↑	1.03 ↑	31.4% ↓
うち札幌市内	251床 ↑	17床 ↑	521人 ↑	3.3% ↓	302人/週 (15.4人) ↑	1.05 ↑	34.4% ↓
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

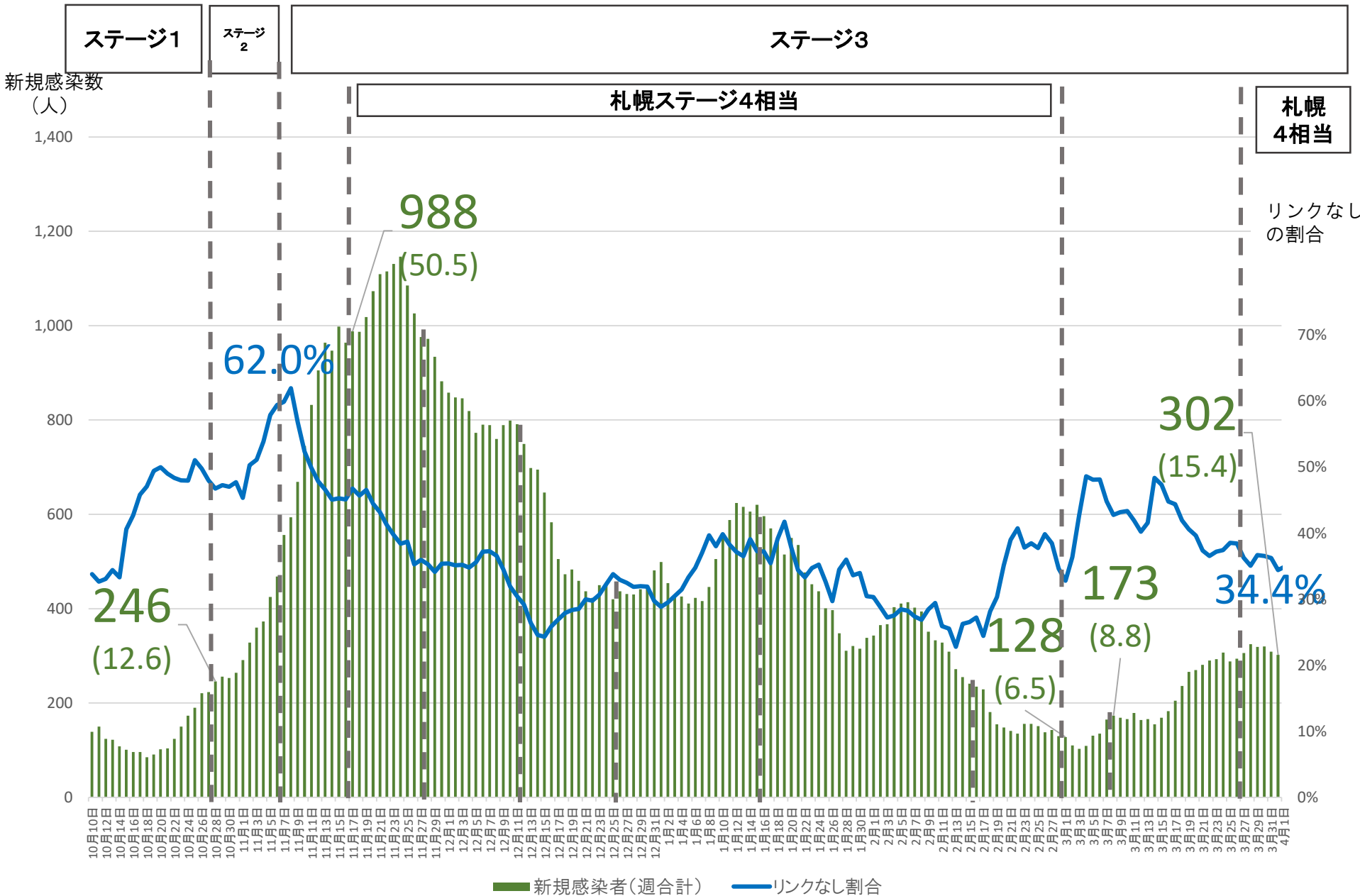
※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

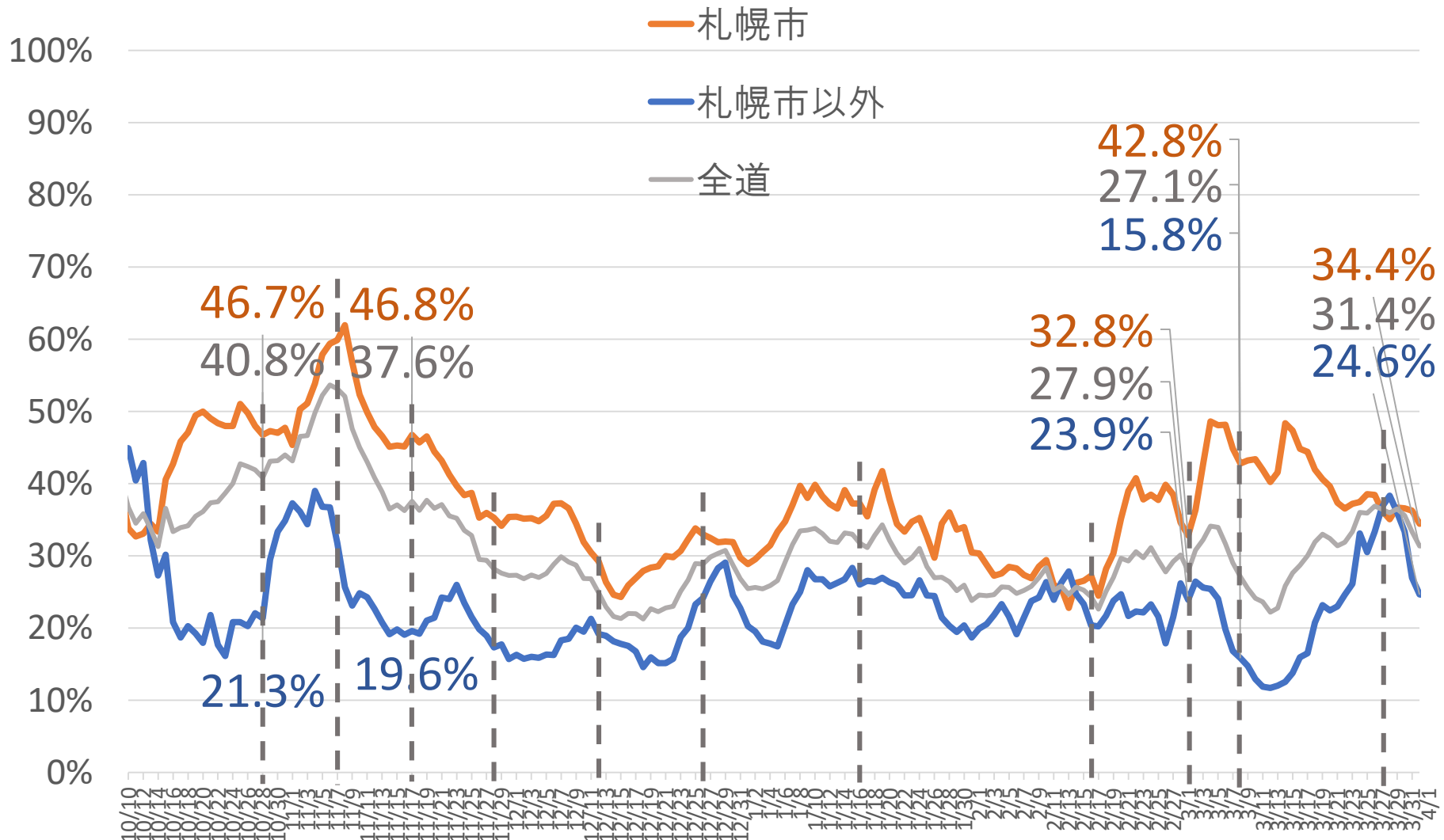
感染状況



札幌市の感染状況

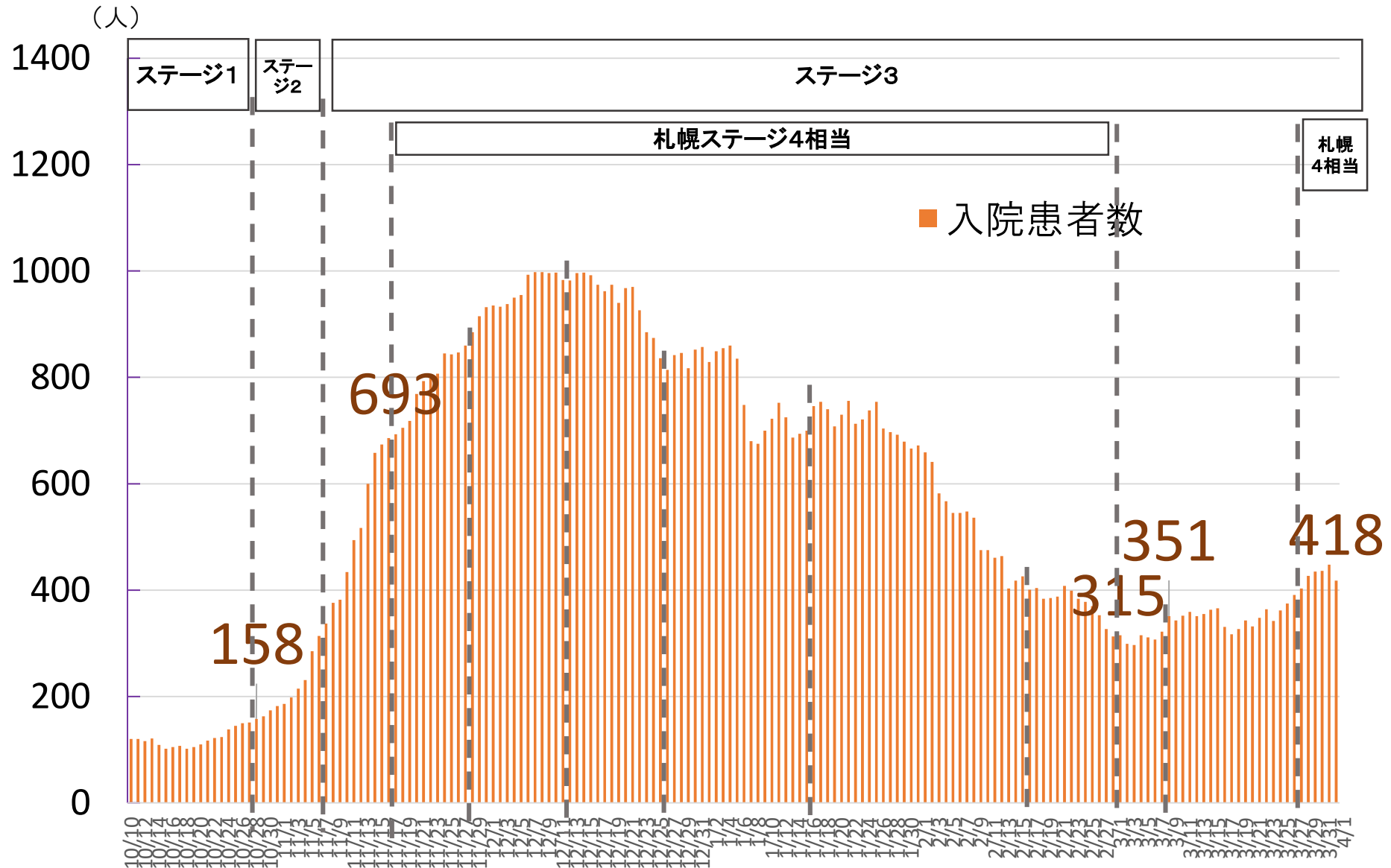


地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)

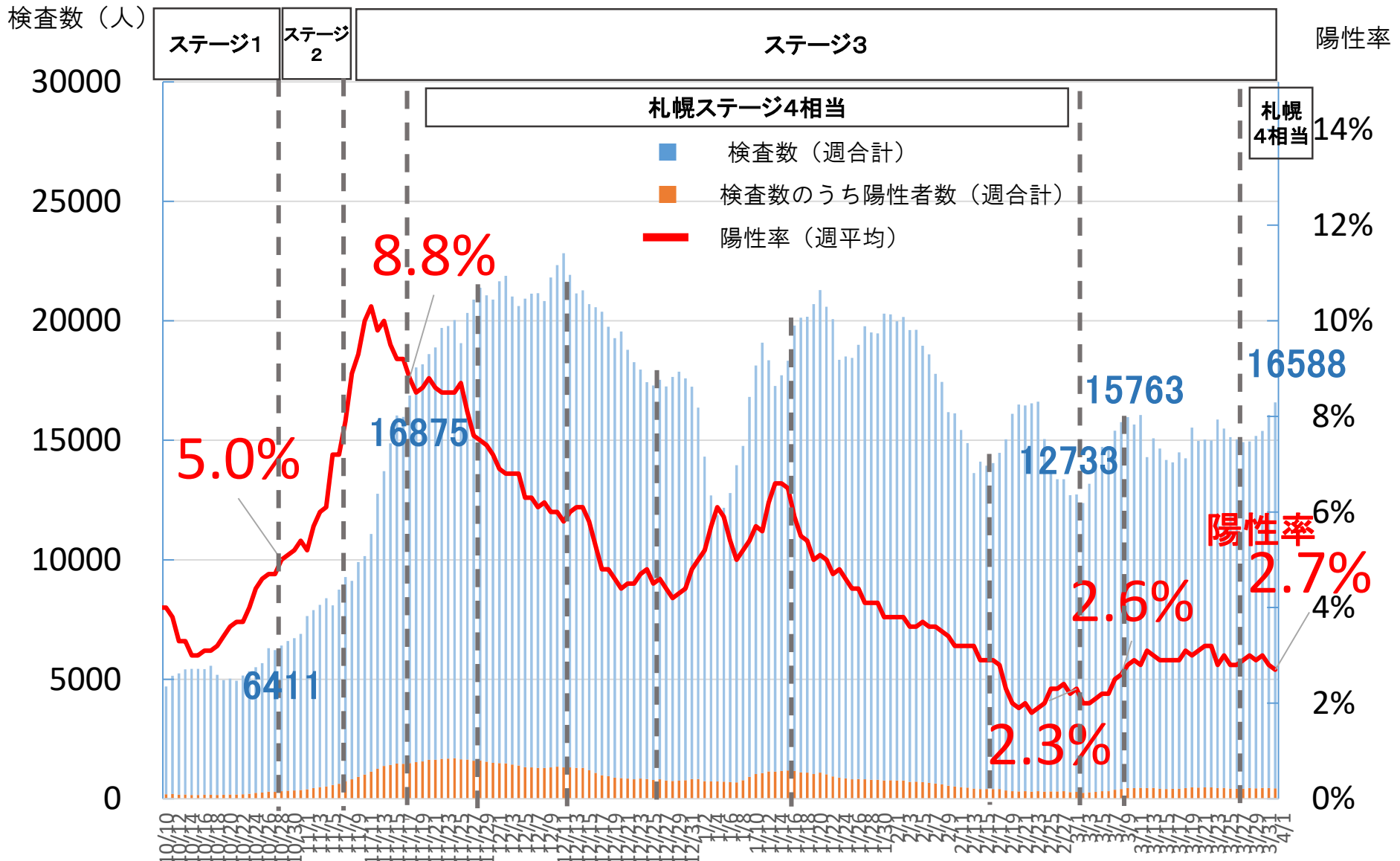


(7日間移動平均)

医療提供体制等の負荷(病床全体)



監視体制(陽性率と検査数)



地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
3/19 ～ 3/25	4	343	7	6	0	26	2	11	0	0	0	20	7	1	2	429
3/26 ～ 4/1	20	346	6	6	3	27	0	20	0	0	0	10	0	0	2	440

※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

集団感染の発生状況

	12月	1月	2月	3月
医療施設 福祉施設	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (289人)
事業所等	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (109人)
飲食店等	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (95人)
学校	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)
合 計	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (577人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	3月(3/18~24)		3月(3/25~31)	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	—	3件 (19人)	2件 (19人)	1件 (12人)
事業所等	1件 (6人)	1件 (6人)	1件 (6人)	1件 (6人)
飲食店等	2件 (38人)	—	1件 (5人)	1件 (6人)
学校	1件 (40人)	1件 (8人)	—	—
合 計	4件 (84人)	5件 (33人)	4件 (30人)	3件 (24人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルス変異株への対応状況

1 スクリーニング検査(道衛研)

期間	新規陽性者数 (道保健所管内)	スクリーニング検査数 (道衛研実施)	うち疑い事例数	スクリーニング検査実施率
2/1- 4/1	1,239	694	61	56.0%

2 ゲノム解析の実施(確定判断は国立感染症研究所)

検体数	内 訳	うち確定例	内 訳	摘 要
114 (4/1時点)	北海道分 44 札幌市分 67 函館市分 2 小樽市分 1	104 (判定不能 10検体)	北海道分 41 札幌市分 60 函館市分 2 小樽市分 1	全て 英国型

変異株 スクリーニング検査

【3/15~21 速報値】

※厚生労働省資料を基に北海道作成

	都道府県	変異株PCR 検査実施件数	【参考】変異株 PCR検査陽性件数 (疑い事例数)	【参考】新規 感染者数
1	北海道	392	90	481
2	大阪府	185	50	852
3	兵庫県	181	128	431
4	福岡県	153	8	240
5	千葉県	136	16	681
6	宮城県	124	1	631
7	東京都	87	6	2108
8	茨城県	75	0	215
9	沖縄県	73	1	256
10	長野県	64	0	115

総 評

【感染状況】

- 道内の新規感染者数は、4月1日現在で10万人当たり8.3人/週と3月7日の集中対策期間終了以降、概ね横ばいで推移している。
- 札幌市においては、感染の増加傾向が続いており、先週との比較においても増加。4月1日現在で10万人当たり15.4人/週となり、全道の感染者の約7割を占めている。また、札幌市では、英国型変異株による感染の確認が続いている。

【医療提供体制】

- 札幌市内において高齢者の感染者が多いことから、札幌市内における入院患者や重症患者の増加傾向が続いており、医療提供体制への負荷が増している。

【今後の対策】

- 変異株の影響により、感染が急速に拡大し、医療提供体制への負荷が急増する可能性も考慮しつつ、引き続き、札幌市内における外出・往来自粛の徹底を働きかける。
- 人の移動や会食機会が増加する時期を迎えるとともに、ワクチン接種が本格的に始まる中、特に、年度始めの行事などにおける感染防止行動の実践について、改めて普及啓発を実施する。